

「ホームメイド・延岡」

うちだりさ通信 vol.3 2009年3月号

<http://www.uchidalisa.com/>

文・写真:うちだりさ



延岡の皆様へ

昨年は皆様方にとってどのような1年でしたでしょうか？私は、充実した日々の中で息子が小学校に入学し、ランドセル姿に感動しました。仕事や家庭の面では夫のサポートを受けながら子供の成長に負けないように頑張っています。

今年の目標は、スケジュール管理をしっかりし、時間を有効利用することによって残された2年2ヶ月の活動に深みを増せればと思っています。

市民の総幸福量

「市民の幸せを感じ、満足感で満ち溢れている」そんなまちこそ、魅力を感じられるのではと思います。

皆様は「ブータン」という国をご存知でしょうか。

ヒマラヤ山脈の麓にある国ですが、1972年に若干16才の国王が誕生しました。その国王が近代化の波が押し寄せる中、「目的と手段を混合せず、経済成長自体が国家の目標でなく、国民の総幸福量が大事だ。」と異例ともいえる政策に真剣に取り組みました。例えば、伝統的な暮らしを守り、国土の6割以上の緑を維持するという緑化政策を打ち出し、プラスチック製品の使用を制限、教育と医療は無料とするなど、強力なリーダーシップを発揮しました。

今では、国民の97%の人が「幸せですか？」との質問に「幸せです。」と答えています。

延岡市では、「延岡の夢」が「新生のべおかプロジェクト」として作成されました。

～賑わいの再生と「東九州の基幹都市」機能の整備～

【メイン・プロジェクト】

雇用創出プロジェクト
中心市街地プロジェクト
公共交通プロジェクト

【ベース・プロジェクト】

地域医療プロジェクト
教育振興プロジェクト
生活環境施設プロジェクト



市民が夢を描き、「幸せだ!」と感ずることができるときの政策となるよう、愛情をもって活動していこうと思います。

メヒカリ(標準和名:アオメエソ)の可能性

みなさん、「メヒカリ」は好きですか？

延岡市はいわき市と兄弟都市の関係にあります。江戸時代に現在のいわき地方を治めていた内藤家が後に移った縁から関係を結びました。

この時、いわき市に殿様が持ち込んだ物がメヒカリと言われていました。その後延岡では、昭和58年より学校給食に採用され知名度が上がりました。現在も国内ではめひかりを好んで食べるころはあまりなく、このことから、いわき市と延岡市の縁を感じます。

この「メヒカリ」、とても神秘的でおもしろいです。どこから来るのか、大きさ、産卵期、産卵場所、寿命など、まだまだ多くの謎に包まれています。そして性同一性(雄雌同体)なのです。さらに、目が光の反射で光るのは知られていますが、実は肛門に発光バクテリアが住んでいて、おしり付近も光ります。

いわき市では、平成13年に市の魚に制定され、お刺身やお寿司、一夜干しなどで食べられています。延岡でも、もっといろいろな料理方法で「メヒカリ」を食べて欲しいと思います。

この「メヒカリ」が、厳しい直面を迎えている漁業の現状の明るい光にれば・・・と、刻まれた歴史をたどりながら深く考える今日この頃です。

伝えよう! 郷土料理



延岡ではメヒカリの唐揚げが有名ですが、その他にも、一夜干しや南蛮漬け、天ぷら、フライ、お寿司、お刺身などいろいろな食べ方をされています。特にお寿司はあっさりとしていくつでも食べられます。皆様もご家庭でメヒカリ料理をぜひ味わってみてください。



画像提供: 日本料理 高浜(延岡市北町)